

生活衛生センター だより



2019 (平成 31) 年 1 月 1 日 No.28

名古屋市生活衛生センター

〒464-0071

名古屋市千種区若水一丁目 2-33

電話 721-0191 FAX 721-0193

『生活衛生センターだより』はインターネットではカラーでご覧いただけます。名古屋市公式ウェブサイト <http://www.city.nagoya.jp/> から「生活衛生センター」で検索してください。



新年のご挨拶



新年あけましておめでとうございます。

今年が皆様にとって健康で良い年になることを心よりお祈り申し上げます。

本年は、5月1日の皇太子さまの新天皇即位に伴い改元が行われる大きな節目の年です。生活衛生センターの職員一同、新たな気持ちで職務に邁進してまいります。

ところで、去年はまさに「異常気象」の年でした。

まず、冬には1~2月に、関東・東北や日本海側において低温・大雪で大きな被害が出ました。そして7月には西日本豪雨がおき、西日本各地の短期雨量記録をことごとく塗り替え、浸水、土砂崩れなどにより多数の被害がもたらされました。

その後は、夏の間を通じ全国で猛暑が続きました。本市では、気温が35℃を超える猛暑日は36日に及び、8月3日には大都市では最高の40.3℃を記録しました。全国で熱中症により救急搬送された方は9.5万人で、健康被害が多発しました。そして、21号、24号など猛烈な台風の襲来です。特に9月4日の台風21号は関西空港を冠水させ、車両を吹き飛ばすなど大阪などで大きな被害を出しました。

環境省は「温暖化が続けば、豪雨も猛暑も増え続けるだろう」と言っています。

本市において広域に浸水被害等発生した場合には、感染症の発生・まん延防止の観点から、迅速に消毒等の対応を実施することが必要です。生活衛生センターも万全な備えをしていますが、当センターの機能を十分発揮するためには、地域の皆様や関係機関との連携が不可欠です。

本年も皆様方のご指導とご協力を賜りますよう、よろしくお祈り申し上げます。

生活衛生センター所長 伊藤 靖之

最近流行している感染症

～風しん、麻しんについて～



☆風しん (三日はしか)

平成 30 年は東京を中心に風しん患者が急増し、成人患者は 95%を占めていました。先進国では日本だけが流行国となっています。

日本では 30～50 歳代男性の風しんの免疫を持っていない人が多いことが問題です。

また、今年度、名古屋市では平成 30 年 12 月 20 日現在 58 人(男性 47 人、女性 11 人)の患者が報告されています。

症状

潜伏期間は 2～3 週間程度です。主な症状としてだるさや発疹、微熱、首のリンパ節のはれなどがあげられます。リンパ節のはれが引くには数週間程度かかることがあります。

先天性風しん症候群

妊娠 20 週頃までの免疫を持っていない妊婦が感染すると、出生児が先天性風しん症候群を発症する可能性があります。主な症状として心疾患、難聴、白内障があげられます。

予防のためには妊娠可能年齢の女性だけでなく、免疫を持たないパートナーの男性をはじめとした周囲の方々のワクチン接種が推奨されています。

ワクチン

予防接種法では 1 歳児 (第 1 期) と小学校入学前 1 年間の幼児 (第 2 期) を対象に麻しん風しん混合ワクチン (MR ワクチン) を接種することが定められています。

現在名古屋市では妊娠を希望する女性を対象に予防接種の費用助成を実施しています。さらに、厚生労働省が昨年 12 月に昭和 37 年 4 月 2 日～昭和 54 年 4 月 1 日生まれの男性を原則無料の抗体検査及びワクチン接種の対象にすると発表しました。これを受けて、名古屋市でも抗体検査及びワクチン接種の費用助成を実施することを検討しています。詳しくは名古屋市の公式ウェブサイト等をご確認ください。



出典：厚生労働省

☆麻しん (はしか)

平成 30 年の春に沖縄県内で海外からの旅行客の 1 人が麻しんと診断されました。名古屋市においても沖縄県に旅行していた男性から麻しんの発生が確認され、その後麻しんが広がりました。7 月に一度は終息しましたが、9 月に新たに発生が確認されています。今年度、名古屋市では平成 30 年 12 月 20 日現在 27 人の患者が報告されています。

症状 (カタル期、発疹期、回復期)

潜伏期間は 10～12 日程度です。症状によりカタル期、発疹期、回復期の 3 期に分けることができます。

(カタル期)

38℃前後の発熱が 2～4 日続き、口の中に 1mm 程度の大きさのコプリック斑と呼ばれる白い斑点ができるのが特徴です。感染力が最も強い時期です。

(発疹期)

カタル期が終わると熱が下がりますが、半日すると 39～40℃の熱が再び出ます。その後体や顔から発疹が出始め、全身に広がります。

(回復期)

回復期に入ると、元気になってきます。発疹は治まりますが、色素沈着が残り、皮膚が少しはがれることがあります。合併症がないかぎり 7～10 日後には回復します。

合併症

主な合併症としては中耳炎、脳炎、肺炎があり、入院が必要となることがあります。患者 100 人中、中耳炎は 7～9 人、肺炎は 1～6 人に合併します。脳炎は 1,000 人に 1～2 人の割合で発生が認められます。

ワクチン

予防接種法では前述のとおり 1 歳児 (第 1 期) と小学校入学前 1 年間の幼児 (第 2 期) を対象に麻しん風しん混合ワクチン (MR ワクチン) を接種することが定められています。

麻しんウイルスは非常に強い感染力を持っており、空気感染するのでマスクや手洗いだけでは予防できません。感染しないためには 2 回の予防接種をすることが重要です。



出典：厚生労働省

おじゃま虫キャラバン(衛生害虫出張講座) 平成31年度分申込受付期間



2月18日～3月4日

《“おじゃま虫キャラバン”ってなあに?》

- 人に害を及ぼす可能性のある虫(害虫)について知り、被害にあわないためにどうしたら良いかを学ぶための教室です。
- 害虫を中心とした虫の標本、パネル、身近に見られる生きた昆虫の展示と、パネルシアターや紙芝居を使った虫の話の2部構成で実施します。
- 内容は対象年齢や季節等によって多少異なります。
- 対象は名古屋市内の団体の方です(幼保育園や小学校、子育てサークルなど)。

《利用時間》

- 月曜日～金曜日(祝休日・年末年始を除く)の午前10時～午後4時です。

《費用》

- 無料です。

《申込方法》

◇受付期間中に電子申請サービスでお申込みください◇

<https://www.e-shinsei.city.nagoya.jp/> から
「おじゃま虫キャラバン」と検索してください。
申込の詳細は1月4日よりご覧いただけます。

3月4日までに必ず本登録を行ってください

電子申請サービスで申込を行うと「仮登録完了」のお知らせメールが届きます。メールに従い、引き続き「本登録」の手続きを行なってください。「本登録完了」のお知らせメールが届いたら手続きが完了となりますので、そのメールを保存してください。

☆「仮登録完了」のお知らせメールには、「本登録」用のページのアドレスが送られてきますが、ウィルス対策のためhttps:の「h」が抜ける場合があります。アドレスがttps:で始まる場合はhttps:に直してから「本登録」用ページを開いてください。

* 3月5日に抽選で順位を決定し、順番にご予約をお取りします。希望日に予約がお取りできない場合は電話で日程を調整します。

3月7日にメールで結果をお知らせします。

**電子申請での受付終了後、空いている利用枠については3月15日9時より先着順に電話で受付をいたします。



住まいのネズミ対策

家の中でネズミの気配を感じたら・・・

冬になると暖かさを求めて家の中にネズミが入り込むことがあります。今回は家に入り込んだネズミを追いつめるためにご自身でもできる対策をお伝えします。

ネズミの気配ってどんなこと？

- ・屋根裏、天井裏で走り回る音、柱をかじる音や鳴き声が聞こえた。
- ・食べ物やお仏壇の花、新聞紙、お風呂場の石けんなどをかじられた。
- ・フンが落ちていた。
- ・ネズミを見かけた。



クマネズミのフン

まずは家の周りや部屋の整理から！

ネズミが隠れながら自由に侵入場所やエサを探すことを防ぎ、食べ物や巣の材料を与えないために、整理整頓と物の保管方法に気を配ります。

- ・食品類はふた付の容器に保管します。
- ・ペットの餌や園芸用の固形肥料、球根なども食べるので容器に保管します。
- ・紙、布、ビニール等をかじって巣の材料にするので不要な物は片付けます。
- ・整理整頓をして、ネズミのかじり跡や巣がないかチェックします。

外から家屋や室内への侵入口を探して、塞ぎましょう！

ネズミが侵入するためには10円玉程度の大きさの隙間があれば充分です。

ネズミが侵入する隙間や穴を塞ぎ、生活路を絶つことが予防や駆除につながります。

すき間や穴を塞ぐのに防そパテ、亀甲金網、インスタントセメント、ベニヤ板などを使うと便利です。



防そパテ



亀甲金網



防そパテと亀甲金網で通気口の穴を塞いだ例



ベニヤ板で土壁の室内侵入穴を塞いだ例

ネズミの行動範囲を予想して効果的に家の中のネズミを駆除しましょう！

フンやかじり跡などネズミの気配のある場所はネズミがよくやってくる場所です。

- ・粘着板やネズミ捕りカゴ、毒エサ等をネズミの気配のある場所に仕掛けます。
- ・毒エサは冬の間のみ使うことができます。幼児やペット等が誤って食べないように注意してください。

1月から3月までに開催する行事のご案内

生活衛生セミナー

1月25日(金)

『人獣共通感染症について』

講師：鳴海 大助 氏 (動物愛護センター職員)

2月22日(金)

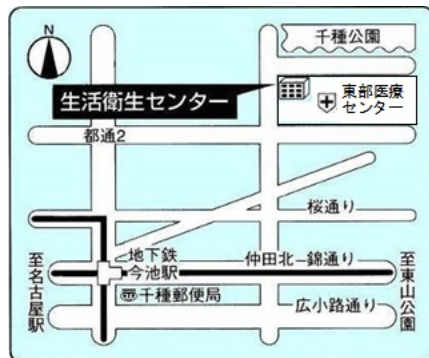
『忘れてはいけない“つつが虫病”』

講師：角坂 照貴 氏

(愛知医科大学医学部 感染・免疫学講座 研究員)

時間：午後2時～3時30分

場所：生活衛生センター 2階視聴覚室



お申し込み

電話(721-0191)またはFAX(721-0193)にてお願いします。

おじゃま虫飼育日記



2年前の冬から出張講座の展示用の虫としてトビズムカデを飼育しています。ムカデは森林の落葉の中など湿った所に隠れて生息し、他の虫や小動物などを捕まえて食べている虫ですので、ケースの中には隠れられる程度の落葉を入れ、週2回ピンセットでエサを与えて湿り気に注意しながら飼っています。

2017年秋には脱皮し4センチほど大きくなりました。2018年春には卵を産みました。卵はメスが腹の下に抱えて保護(抱卵)し続けないと死んでしまいます。また、メスが危険を感じると卵を食べてしまうそうです。この時産んだ卵はしばらく抱卵していましたが自分で食べてしまいふ化することはできませんでした。

現在は体長17センチ、幅1.5センチにも大きくなりました。太さがあるので迫力満点で、思わず見入ってしまいます。

ムカデは頭の下側にある牙の様な形の爪に毒腺が通っていて、噛まれるとかなりの激痛を覚えます。人家の中に紛れることがあり、誤って触って噛まれたという話を時々聞きます。ムカデを見つけた際は触らないようお気を付けください。



抱卵するムカデ



エサを食べるムカデ